

# 新年のあいさつ

2012年を迎え、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、3月11日に未曾有の東日本大震災が発生し、被災地では言語に絶する被害を受けました。私は11月の初めに被災地の陸前高田市を訪問しましたが、地震発生から8カ月が経っても、ほとんどの建物が津波にさらわれた地に瓦礫の山が残されており、復興には膨大な時間がかかることを思い知らされました。しかし、地元の人々は、自分たちの街を自分たちの手で再建するのだという強い想いと、未来を描くその構想の大きさに、私は逆に励まされたのです。日ごろの人と人のつながりが、街を取り戻す大きな力に変わることを心に強く感じた訪問となりました。

大都会に暮らす自分の地域では、どれほどの人が隣人と顔を合わせ、挨拶を交わしているでしょうか。まして、何らかの障害をもつ人にとって、周りの人の声かけが無くては地域であたり前に暮らすことは困難です。この「あたり前に暮らす」ことのもつ様々な意味を、ぱれっとは今年も追及していきたいと考えています。

今年も、ぱれっとへの温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

NPO法人ぱれっと理事長 谷口奈保子

## スタッフの「今年、ぱれっとでチャレンジしたいこと」

### NPO法人ぱれっと事務局

#### ★もっとシンプルに、平常心で取り組む★菅原睦子★

多分に私自身の性格的な要素が大きいのですが、物事を難しく考えすぎる傾向があり、判断に窮することがこれまでに何度もありました。『自己改革』はいくつになっても永遠のテーマなのですが、リーダーとして必要な判断やぶれない考えを身につけたいです。

#### ★自分の立ち位置を確立し、常に意識高く仕事する★坂上玲子★

早く自分の立ち位置を確立し、「こなす」仕事にならないよう、意識高く仕事をしたいです。事務局の仕事の効率化をはかり、外部との接点を作ったり、レストランのコミュニティサロンに参加したりと、仕事の幅を広げたいです。

### たまり場ぱれっと

#### ★フットワークを軽く！動く！★左右木 歩★

現在、世代交代に伴い、スタッフのリーダーシップが問われています。スタッフは現場を抱えながら全体で行なう取り組みにも今まで以上に力を注いでいく必要があります。そんな各現場を見渡した時、一番動きやすいセクションにいるのが私です。そんな自分をどう活かすか、チャレンジしていきます。

### おかし屋ぱれっと

#### ★物事をじっくり考える時間を作る★相馬宏昭★

本年もどうぞよろしくお願いいたします。3歳になったばかりの双子の子育てに時間を取られる日々、「イクメン」は世間が騒ぐほどそんなにカッコいいものではないことを実感。日々の生活の中で心にゆとりを持ち、物事を冷静に判断できるようにしたい。

#### ★英語を勉強する★長澤美佳★

ぱれっとでは海外からの研修者やお客様がいらっしゃる機会も多く、以前から英語

の重要性を感じていました。昨年8月にアジア知的障害会議に参加し、よりその気持ちが高まりました。海外の方とのコミュニケーションを通して幅広い視野を身につけたいです。

### ★新商品開発★前川浩一★

おかし屋のメンバーの仕事の幅が広がるお菓子を開発したい。お菓子作りは難しい面も有りますが、道具の工夫や製造方法の工夫でみんなで作れるお菓子を増やして、おかし屋の売上げにみんなで貢献する事にチャレンジしたいです。

### ★念を入れる事★三浦枝里子★

チャレンジとは少しずれてしまいますが、私の中で念とは今を大事にする心と捉えています。日々の生活が当たり前に進み、時間に追われる中で今一度この言葉を念頭に置きたいと思っています。そしてそれを感謝に繋げる！！という事に力を入れたいです。

## スリランカ料理 & Beer Palette

### ★インターネットのつながりを積極的に増やす★南山達郎★

今年度の目標にもしている「ウェブ対策」。ネットワークが大分できてきましたが、今年は公私にわたり、さらに強化していこうと思っています。ネット販売もスタートしましたので改めて「インターネット元年」にしたいと思っています。

### ★体のケアと健康管理をしっかりと★ロハン・フェルナンド★

日本に来て早16年。50歳を越えて、体の不調も出てきました。息子達のサポートも得ながら、今年は健康管理をしっかりとし、無事に一年を過ごせるようにしたいです。食事や睡眠などにも気を付けてがんばります。

## えびす・ぱれっとホーム

### ★19年目を迎えるホームの事務室の整理整頓を行なう★三森紀子★

気が付くとホームもオープンから18年も経っている。職員が増えたこともあり、今まで不十分であった事務室の整理整頓を行ない、古い資料などを処分して、心機一新新たな気持ちで理事長交代と30周年イベントに向かいたい。

### ★ささやかな楽しみのある支援を実施する★姫崎由美★

ヘルパー不足で新規を受け付けてくれる事業所も見つけにくい昨今。単発の外出を支援することは難しい状況となっています。生活の中に“ささやかな楽しみ”をプラスできるような支援を、外から学んできて、実施したいです。

### ★ネットワークをもっと広げたい★中野行徳

ここ数年、インターネットでのフェイスブックなどのツールが増え、いろんな人に簡単に繋がることが可能ですが、正直あまり使いこなしていません。これを使いながらも地道に対面で繋がりあえる関係づくりを今年はたくさん増やして行きたいです。

### ★支援に繋がる情報収集や知識を身につける★伊藤 遥★

一人ひとり個性があるように、障害のある人の特性によって、支援の仕方もそれぞれ異なります。その人が持っている潜在的な力を最大限に引き出せるよう、多方面から対応できるスキルを身につけ、充実した地域生活を送れるように支援したいです。

### ★料理のレパートリーを増やし、腕前をあげていきたい★広橋 潤★

自己流の料理ばかりで、見た目も悪く、味付けも自分ごのみの濃いめが多いので今年は、包丁の使い方や彩りを勉強し、いろいろなレシピをためし、自分のものにしていきたいと思っています。一つ釜の飯を一緒にとることを大事にしたいと思います。